



# 老害



雲地草夫

老害とは何か？その本質はたった一言で言うことができる。

それは「十分やったのに、全然やり足りない気がする」ことだ。

そこに次のものがプラスされたならば老害は苛烈を極める。

「たいして働いていないのに、十分働いた気になっている」

十分働いた人間が、60歳、70歳になって、壮健であるはずがない。有名人で言えば、本当に働いた人間は、大平正芳のようになる。

「働いてもらっていないながら、自分が働いたことのようにするな」

以上、自戒を込めて一筆したためさせていただいた。